



作・演出：茂山童司

出演：茂山千五郎 茂山あきら 茂山千三郎 茂山茂
茂山逸平 丸石やすし 島田洋海 茂山童司

東京公演

2017.8.25(金) 19:30 開演(19:00 開場)

セルリアンタワー能楽堂

京都公演

2017.8.26(土) 17:00 開演(16:30 開場)

大江能楽堂

料金 4,500円(全席指定)

WEB先行発売日 6月18日(日)10:00
http://dojicompany.jp/marikoji/ (24時間受付)

一般発売日 6月19日(月)10:00
075-751-9046・070-5345-1811(平日10:00~18:00)



※6月18日先行発売日はマリコウジ特設WEBサイトからのみの受付です
※6月19日以降は電話、WEBサイトどちらからもご予約いただけます ※お座席はお選び頂けません

主催:童司カンパニー / (一社)アーツシード京都 企画・制作・お問い合わせ:童司カンパニー 075-751-9046

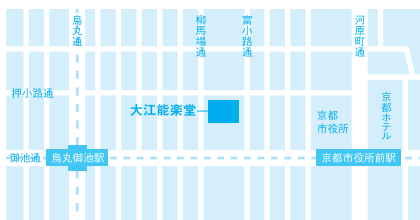
セルリアンタワー能楽堂

〒150-8512 渋谷区桜丘町26-1
セルリアンタワー東急ホテルB2階 03-3477-6412
・渋谷駅西口より歩道橋で玉川通りを横断徒歩5分
セルリアンタワー東急ホテル地下2階
「能楽堂」看板の先に劇場入口がございます。



大江能楽堂

〒604-0944 京都市中区押小路通
柳馬場東入橋町646 075-231-7625
・京都市営地下鉄東西線 京都市役所前
出口9・11より西へ徒歩4分
・烏丸線・東西線 烏丸御池駅
出口1より東へ徒歩5分
・京阪電車 三条駅 徒歩15分



過去公演より

百年後、古典狂言の太い幹の一部となり得るような新作狂言をつくり、発表するエキサイティングな狂言会。それが茂山童司が作・演出を手掛ける『新作“純”狂言集マリコウジ』である。従来の狂言らしい普遍的なものをテーマにしながら、今を生きる私たちが抱える問題もエッセンスとして散りばめ、笑いに変える。百年後「古典」となった時、人々の目にそれはどう映るのか。

過去二回はそれぞれ女物、鬼山伏物の新作狂言を発表し、狂言界に新たな一石を投じた。

第三弾のテーマは『脇狂言』。面白いことよりも祝言性が重視されるジャンルの狂言だが、それゆえ近年は上演されることが少なくなってきた曲目も多い。脇狂言が百年後にも上演されるために「面白い」と「目出度い」を融合した新作狂言を二本上演する。現代の我々にとって本当の意味で目出度いとはどういうことなのかを問いかける。

今年も笑いの種蒔きを始める。
歴史的初演を見逃すな。
これが、2100年の古典だ。

新作狂言「焚き火」

茂山千三郎 茂山千五郎

旅の途中盗賊に襲われて無一文になってしまった不幸な男。山道で行き暮れて焚き火をしていると、なんと焚き火の神様が現れる。神様は哀れな男に同情し願いを叶えてやると約束するが…。舌切り雀、マッチ売りの少女、アラジンの魔法のランプなど、色々な昔物語を狂言の世界に取り込んだ童話的狂言。

新作狂言「道行かず」

茂山茂 茂山逸平 島田洋海

都へ年貢を納めるため田舎を旅立ったお百姓が途中で同じようなお百姓と道連れになった。二人とも都を目指しているがどうしてもたどり着けない。次第に自分がある場所がわからなくなり、ついには自分の素性さえも怪しくなってくる。「道行」と呼ばれる舞台を回ることで場面転換をするという狂言のルールを逆手にとって舞台上を混乱に陥れる不条理な喜劇作品。

古典狂言「宗論」

茂山あきら 茂山童司 島田洋海(東京公演) 丸石やすし(京都公演)

アフタートーク

終演後、童司とゲストがマリコウジを徹底解剖!

※やむを得ず出演者・内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。